

第23回

かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

新型コロナウイルス感染症が終息する気配の
見えない中、1月16日（土）、17日（日）県立
音楽堂での開催を目指し、感染症対策を考慮し
準備を進めてまいりました。しかし、1月7日
に緊急事態宣言が発出されたことを受け、急遽
YouTube を活用した審査へと開催方法を変更し
ました（開催期間：2月7日～11日）。変更を決
断した時は、緊急事態宣言下での音源作成が困難
な団体もあることが推測され、参加団体が減少す
るのではと不安もありましたが、41 団体に参加
して頂く事ができました。小学校が4 団体と過去
最多となりましたが、一般が5 団体と激減してし
まい、コロナ禍における開催の難しさを感じまし
た。また、感染症対策として入場券を事前販売と
しましたが、開催方法の変更に伴い払戻しとなり、
お客様にご心配をお掛けしてしまいました。

かながわアンコンでは、審査は①発声②アンサ
ンブル③音楽性④審査員が重視した点 の4つの
項目で評価します。YouTube の活用ということ
で映像に関心がいきますが、映像の編集技術など
で差がつかないよう、映像を評価対象から外すこ

とを審査員にお願いしました。審査の結果、総合
1 位に神奈川県立相模原弥栄高校合唱団 B、総合
2 位に川崎市立坂戸小学校合唱団、総合3 位に
La Pura Fuente が選出されました。各賞は別表
をご参照ください。

YouTube での開催となりましたが、各団体が
コロナ禍においても工夫をこらして合唱を続けて
いることが伝わってきました。各行事が中止にな
る中、このような形でもアンコンが開催でき、皆
様に発表の機会を提供できたことに安堵してお
ります。来年は、新型コロナウイルス感染症が終
息し、いつも通りに開催できることを願っており
ます。

最後に、今回の開催に当たり急遽の開催方法変
更にもかかわらず、参加していただきました各団
体の皆様、ご対応いただきました審査員の皆様、
関係各位にこの場を借りて御礼申し上げます。あ
りがとうございました。

ヴォーカルアンサンブルコンテスト実行委員長

田中 勝

第23回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

審査結果一覧

部門	団体名	賞	関東推薦
高等学校部門	神奈川県立相模原弥栄高校合唱団 B	金	○
	清泉女学院高等学校音楽部	金	○
	県立湘南高校合唱部 金木犀	金	○
	神奈川県立相模原弥栄高校合唱団 A	金	○
	神奈川学園中学・高等学校 女声合唱団	金	○
	県立湘南高校合唱部 雪華	銀	○
	神奈川県立海老名高等学校合唱部 月華	銀	○
	洗足学園中学高等学校 合唱部	銀	○
	県立多摩高等学校合唱部	銀	
	県立湘南高校合唱部 葵	銀	
	鶴沼高等学校合唱部	銀	
	県立湘南高校合唱部 岩燕	銅	
	横浜隼人中学・高等学校 合唱部	銅	
	法政大学第二中・高等学校合唱部	銅	
小中学校部門	川崎市立坂戸小学校合唱団	金	○
	桐蔭学園小学校合唱団 輝き	銀	○
	目黒区立東山小学校合唱団	銀	
	伊勢原市立成瀬中学校コーラス部	銀	
	横浜市立瀬谷中学校 合唱部	銀	○
	川崎市立西中原中学校合唱部 A	銀	○
	横浜市立大綱中学校	銀	○
	海老名市立今泉中学校 A	銀	
	海老名市立海西中学校合唱部	銅	
	川崎市立西中原中学校合唱部 B	銅	
	海老名市立今泉中学校 B	銅	
混声部門	湘南ユースクワイア	金	
	合唱団 AKO-AG	銀	
部女声部門	La Pura Fuente	金	○
	Trinity	銀	

※ La Pura Fuente は関東ヴォーカルアンサンブルコンテストの出場を辞退されました

総合審査結果

総合1位 県立相模原弥栄高校合唱団 B

総合2位 川崎市立坂戸小学校合唱団

総合3位 La Pura Fuente

審査員賞

横浜市立六角橋中学校

～審査員長 小野瀬 照夫 先生 全体講評～

第23回かながわヴォーカルアンサンブルコンテストを振り返って

神奈川県合唱を愛する皆さま、お元気でしょうか？

先日はヴォーカルアンサンブルコンテストで審査をさせていただきました。録画録音形式でしたので事前には正直戸惑いがありましたが、取り掛かってみたらあっという間に全団体の審査を終えていました。それは、恐らくどのチームも精度の高い演奏ゆえのことと思います。良い演奏が続くと、聴き手の集中も持続します。その素晴らしい演奏のおかげで、疲れ知らずの審査ができました。

ただ、その中でも少し気になる演奏がありました。それは、「発音」と「発声」の関係についてです。「深い声」を出そうとするあまり、「発音」までが喉や口の奥の方でもごもごしてしまう演奏もあったからです。深みのある声は良いと思いますが、言葉の発音は前に出すクリアな方が良いと思います。特にマスク着用の方はより心掛けると良い演奏につながるでしょう。よろしかったら参考にしてみてください。これからも楽しく歌いましょう。

参加団体インタビュー

◆川崎市立坂戸小学校合唱団 森 円佳

今回はホールでの演奏ではなく残念な部分もありましたが、この大会があったおかげで合唱団が1つになり目標に向かって頑張ることができました☆

健康チェック、手洗い、マスク着用、限られた練習時間、密にならないよう体育館で間隔を空けての練習など感染対策は十分に行いました。それでも感染するかもしれないという不安を抱えながらも、いつもと変わらない笑顔で歌う事を楽しむ元気いっぱいの子どもたちの歌声からパワーを貰いました。保護者の方々のバックアップや応援してくださったたくさんの方々に感謝しています。またこの大会があったおかげで希望を持って音楽に取り組むことができたことにとても感謝しています。本当にありがとうございました。

第10回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストの内容はP8をご覧ください。

コロナ禍における合唱活動

～ How to Remote特集 ～

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、緊急事態宣言が発令されるなど、諸々の合唱活動が制限されています。対面での練習ができない中、合唱団活動を存続していくために、Web会議ツールZoom(ズーム)などを導入して活動している合唱団が神奈川県内にも一定数いらっしゃいます。一日も早い収束が望まれますが、待っているだけでなく、この機会に新しい試みにチャレンジしてみるのもいい刺激になるかもしれません。

Zoomを使用した合唱練習は、2020年4月に発令された緊急事態宣言をきっかけに多くの団体が挑戦した新しい合唱練習の形式です。

Zoomとはパソコンやスマートフォンを使って、いつでも、どこからでも、複数人でのテレビ通話ができる便利なWeb会議ツールです。インターネット上に「ミーティングルーム」と呼ばれる“架空の会議室”を作り、参加者がインターネット経由でミーティングルームに集まる仕組みです。

◆ 使用する上で 必要な環境

使用する上で、合唱団員ひとりひとりが下記の環境が整っているかを事前に調べておく必要があります。

- ☐ インターネット通信環境が整っていること
- ☐ PCまたはスマートフォン、タブレット端末を持っていること
- ☐ 使用する端末にZoomのアプリがインストールされていること
- ☐ (ミーティングを主宰する場合)アプリのインストール後、Zoomのアカウントを作っていること
- ☐ (実際に声を出す場合)声を自由に出せる住環境であること

◆ 主に使用する特殊な操作

ミーティングの主宰者と参加者で事前の準備と操作内容が若干異なります。

- | | |
|------------|---|
| 主宰者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングルームを準備する。 ・参加者に「ミーティングID」、「パスワード」を連絡する。 |
| 参加者 | <ul style="list-style-type: none"> ・主宰者から提供された「ミーティングID」、「パスワード」でミーティングルームに入る。 ・音声入力のOn、Offの切り替え。 |

◆ Zoomを使用した練習のメリットとデメリット

Web会議ツールを用いた合唱練習は画期的な反面、従来の練習と異なるアプローチとなるため、メリットやデメリットがあります。

メリットとしては緊急事態宣言が発令されているなど、集まって合唱ができない環境下でも、顔を合わせて話す機会や歌唱に必要なストレッチやトレーニング、歌唱練習の機会を作れることが挙げられます。また、普段の練習では扱えない取り組みが可能です。例えば外国語の発音、身体の機能についてより詳細な発声方法、楽曲の成り立ちや歴史について理解を深める取り組みをされている団体も見受けられます。

一方でデメリットとしては、一斉に声を出して合わせることが難しいことが挙げられます。インターネット経由で音声を送受信するため、音声信号の遅延が生まれ、同時に音声を鳴らすことができません。また、画面を見ることに集中するので、ドライアイや眼精疲労につながる可能性もあります。目を休めるために30分に1度など細かな休憩を挟むことが望まれます。

富士通川崎合唱団

富士通川崎合唱団では、2020年度中は対面での練習を行わず、Zoomによるリモートでの練習を継続されています。実際の練習の様子をご紹介します。

練習の時間割

- 14:00～ ①全体練習(体操・プレストレーニング・発声)
14:30～ ②男声・女声練(音取り)
15:00～ ③全体練習(伴奏に合わせて)
15:25～ 全体連絡

① 全体練習(体操・プレストレーニング・発声)

団員は音声をミュート(消音)し、指導者のみが音声ありで体操・プレストレーニング・発声練習を行います。進行の合間で歌い手ひとりがミュートを解除して、指導者が個々の声を聞き、一人一人にコメントをして声のコンディションを整える場面がありました。

② 声部に分けての練習

Zoomの“ブレイクアウトルーム機能”^{*1}を用いて、それぞれのグループに分けて練習を進行します。練習の進行は団員が行い、指導者は時折それぞれの部屋を巡回して、進捗の

確認や、楽曲解説の時間を取っていました。具体的な音取りの方法は下記の通りです。

◆ 団員が作成した音取り音源を再生し、それに沿って団員ごとに取り組んでもらう。

◆ 進行役が指名して団員ごとの歌を聞き、取れているかをチェックする。

③ 全体練習(伴奏に合わせて)

“画面共有機能”^{*2}を用いて、楽曲の解説やピアノ音源と一緒に歌う練習をしていました。

ピアノ音源に合わせた歌唱は、事前に収録されデータ化されたピアノ伴奏の音源を流し、団員はミュートのまま伴奏に合わせて歌います。指導者には団員の声は聞こえないので、歌う中で「どの箇所で音程が分からなくなった」、「歌がつかえてしまったか」を団員自身で把握してもらうように指示をされていました。

^{*1} … Zoomミーティングを別々のセッションに分割することができる機能

^{*2} … Zoomを実行しているそれぞれの端末で、ひとつの画面を共有できる機能

本記事内の富士通川崎合唱団の活動事例は、取材・記事化した川崎市合唱連盟から情報提供をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(編集委員 中原)

リモート練習 Q&A

富士通川崎合唱団の菊井さんに伺いました

Q リモート練習を始めるにあたって、団員のインターネット環境はどのように整えられたのでしょうか。

A インターネット回線や機器などの環境整備での苦労はあまりありませんでした。また、社内でのリモート会議システムとそれほど違いがなかったため、Zoomの操作も大きな障壁にはなりませんでした。

ただし、回線・機器の環境のないメンバーや、隣近所に迷惑がかかるので声が出せないメンバーもあり、どのようにケアをしていくか課題となりました。

◆ 練習で何が行われたのか練習報告と、練習中に使用した資料を送り確認してもらう

◆ 特別な練習については、YouTubeなどに動画を限定公開にして団員に視聴してもらう

など、リアルタイムで参加できなくても練習の状況を分かってもらえるようにしています。

Q 特に高齢の方の多い合唱団の場合など、スマホの操作やZoomのインストールなどで躓いてしまうケースも数多く

見られますが、その壁を乗り越えるためにはどうしたらよいでしょうか

A 周囲によくご存じの方がいらっしゃらないか探してみてもいいでしょうか？ちょっとした講習の機会を作ってみるとか、紙の資料を作ってメンバーのみなさんに送付するとか、手順書を公開するとか。一度うまくいくと案外難しくないと感じられる方も多いと思います。

Q リモート練習上の注意点などありましたらお願いします。

A リモート練習は基本的に講師の先生からメンバーへの発信になりますので、先生以外の人のマイクがオンになると、周囲の会話や雑音を拾って練習に支障がでてきます。先生が説明されている時やメンバーの誰かが連絡をしている時は、マイクオフしておくことが最初に必要なマナーになります。

利点としては、練習に出られない時でも仕事をしながら練習を聴くことができるので、練習の進捗を確認できるだけでも非常に有益であると感じています。

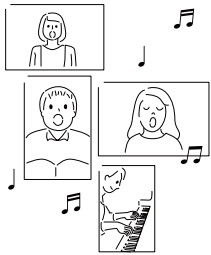
アンサンブル萌

2021年2月下旬のリモート練習を取材させていただきました。指導者の杉山先生とピアニストの久野先生がそれぞれにZoomでミーティングルームのホストとしてリモート練習をされています。

練習はパートごとに40分程度。ピアノとは重ならないように時間帯をずらして行われています。

団員の皆さんはPC、スマホ、タブレットなどでの通信環境は整っており、リモートでの練習にあたっては、団員のなかでZoomの使用法を教え合う機会を持ち、全員が参加できるようになったそうです。

コロナ禍では全体が集まったの練習とリモートでの練習の二本立てで、特に音とりはリモートが多いそうです。



●杉山先生の指導

身体を動かす前に両耳を指で持って、

いろいろな方向に引っ張る。次に首を前、後ろ、こめかみを壁際につけるように右、左と動かして首が安定する位置を決める。呼吸は腰を広げるように息を吐く。片足を抱えて身体をまるくして息を入れて、伸ばして息を吐く。

その後、目をしっかり開いて、表情筋を持ち上げるようにしての発声練習。

最後に合唱曲の練習に入りました。

曲は栗原寛の短歌、信長貴富曲「栗鼠も、きっと」のなかの《永遠におだやかに》です。どの場面でも、杉山先生は声も出し、ご自身で実際に見本を示して指導されているので、とてもわかりやすかったです。

(取材後の感想) 画面上の指導者の音と団員の口がずれている様子を見ましたので、やはりリモートは指導者と個人の練習だと思いました。早く本来の合唱練習ができるようになることを願っています。(編集委員 松浦)

ブルーポロニア

ブルーポロニアでは、緊急事態宣言中の1月にメゾZoom自主練習会を行いました。必要機材はパソコンかスマホ1人1台で、全員がZoomをインストール済、事前の接続テストも成功。使ったのはICレコーダーで録音した通常練習の音源です。以下はメゾのパートリーダーさんからの報告です。

『私が予め、ICレコーダーのインデックス機能により、パートごとの音取り・両パート合わせたもの・両パートかつ伴奏がついたもの…など何小節から何小節、と細かく細かくインデックスを貼り付け、Zoom練習会では、私がインデックスを次々と飛ばし、シャワーのように練習音源を流し、皆はミュートにして、各自、家で声を出して音源に合わせて

歌ってみました。

実際の音源を使ったことで先生方の指導を直に受けているような感じもあり、全員の歌声が入っているので、メゾ5人でやった練習会も全員で歌っている気持ちになれたことで、久しぶりにみんなと歌って楽しかったと、心から思えたことが最大の収穫だったと思います。』

詳細は<http://fb.com/blueporonia>をご覧ください。ただいま練習会場と自宅をZoomでつなぐハイブリッド練習を計画中です。その報告文も上記のフェイスブックに掲載予定です。

(ブルーポロニア広報 吉本 晴美
メゾパートリーダー 盛口 由美子)

その他の事例 (県連アンケートから)

・コールミント

Wi-Fi環境のある会場では練習をオンライン配信

・アンサンブルブリュサン

LINEのリモート配信で欠席の人も自宅で参加

・マンマ・アルモニコ

Zoomで先生の歌声に合わせて各自がミュート状態で歌い、ハーモニーを少しでも感じられるようにしている

・横浜ルミナスコール リアル練習をYouTubeで生配信

音取音源を使って自宅で録音したデータを集め、多重録音したものをZoomのリモート練習で使っている

・ハルモニア・クロス Syncroomを利用したリモート練習

(ヤマハのオンラインセッションリモート合奏アプリ: 遅延が少なく離れた人たちがリアルタイムで音楽演奏)

リレーエッセイ No.32 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 徳永 祐一先生です。

次の1拍

合唱を生業とする私も時に指揮をします。

指揮はしますが何故か指揮者と思ったことがありません。これまで指揮の勉強はかなりしてきたと自負していますが、所詮独学の範疇を超えません。

私の場合、指揮を学ぶ場はどこにあったのか。学生時代に課外授業で教わったことは確かです。短期間ながら譜面の読み方(インプット)から肉体運動(アウトプット)まで、大変有意義な教示を受けました。

卒業後はすぐに演奏活動に携わることになりました。

指揮するための学びの場、それは自分がうたうステージ上にあったと思います。数多の指揮者達との出会い。みな個性豊か。様々なアプローチで音楽の世界へ導いてくれました。

そういった環境の中、私が感じた指揮に大切な要素をいくつか挙げてみたいと思います。

まず「うたえる」人。

うたえる人の指揮はとにかく息が合います。W.サバリッシュさん、若杉弘さん、P.ヒリアーさんといった名前が思い浮かびます。

次は「アルシス & テジス」

洋の東西を問わず言葉を扱う合唱の指揮は場合によって拍を打つよりも大切な運動が必要です。グレゴリオ聖歌にとどまらずアルシス & テジスのキロノミーを上手く運動へ変換した指揮は、言葉が心まで伝わる合唱になります。田中信昭さん栗山文昭さん、そして片山みゆきさん。この御三方からは特に多くの学びを得ました。

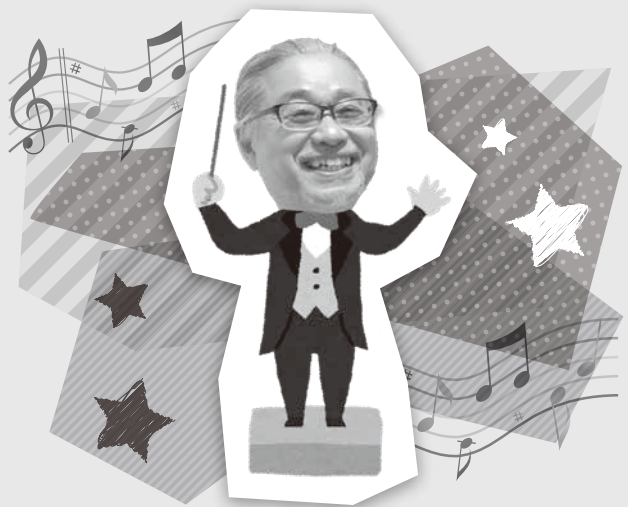
指揮をするにあたって欠かせないもの。「希望と情熱」それは指揮に限ったことではありませんね。音楽のあらゆる領域に向けられるものです。これは20年近く岩城宏之さんの側にいて感じたことです。また岩城さんの発想は楽譜を超越したゼロからの創造でした。発想の源には常に希望があり、実行に向ける情熱はふつふつと湧き上がるマグマのようでした。

もう一つ。「目」で指揮(make contact)することの大切さを学びました。岩城さんは合唱が大好きでした。

枚挙にいとまがありませんが、今、私が指揮をしているのは、こうして感じ学んだことの実践であるといえます。

そして指揮するための学びの場もこれから続いていきます。

最後になりますが、多くの指揮者が生み出す「次の1拍」が皆さんの合唱団によって素晴らしい音楽に創りあげられ、美しい「未来」へ繋がっていくことを切に願っています。



次回は宮本 益光先生にお願いしました。

県連からのお知らせ

第44回 おかあさんコーラス 神奈川県大会について

今年度のおかあさんコーラス大会は、コロナ禍の中、「YouTubeを活用した方法」での開催に変更となり、開催時期も、全日本合唱連盟から県大会の延期要請を受けて6月初旬の開催となりました。詳細につきましては改訂版の参加要項をご覧ください。

例年とは異なるかたちとなりますが、貴重な演奏の機会になると思います。人数制限もなくなりますので、舞台上と同じように美しい歌声とパフォーマンスをぜひ映像でご披露ください！

主な日程

- ◆ 参加申込み締め切り 4月27日(火)
- ◆ YouTubeへの動画掲載期限 5月24日(月)
- ◆ 開催日時 6月1日(火)～6月5日(土)

第64回 神奈川県合唱祭について

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大以来、いよいよ初めての舞台での演奏再開となります！練習会場の確保や感染対策など、活動の継続にはご苦勞が多かったことと思います。ぜひその成果を発揮し、舞台上で歌う喜びを味わっていただきたいと思います。

県立音楽堂のガイドラインにより、舞台上では20名までという制限がありますが、複数グループにわかれての演奏も可能となっております。ぜひ奮ってご参加ください！

主な変更点

- 各日3ブロック制 休憩時間を設け客席入替、換気・消毒を実施
- じゃんけん大会、全体合唱、メッセージカード交換等は中止
- リハーサル、更衣ともになし 演奏時間は6分間
- 舞台上は20名まで 20名を超える団体は複数グループでの参加可能

湘南フィルハーモニー合唱団 第28回演奏会

Felix Mendelssohn Bartholdy

Oratorium “ELIAS” opus 70

メンデルスゾーン オラトリオ「エリヤ」

指揮 松村 努

ソプラノ 朴 瑛実 アルト 谷地畝晶子

テノール 藤井 雄介 バリトン 福島 明也

管弦楽 グロリア室内オーケストラ

合唱 湘南フィルハーモニー合唱団

Combinir di Corista (賛助出演)

2021年5月20日(木) 開場 17:30 開演 18:30

ミューザ川崎シンフォニーホール

◆チケット3月1日より発売 S席 ¥3,000 A席 ¥2,000 B席 ¥1,000

◆チケット取り扱い  pia.jp/t
0570-02-9999

ホームページ <https://sho-phil.com/>

後援 神奈川県合唱連盟 / JCD 日本合唱指揮者協会

第10回 関東ヴォーカル アンサンブルコンテスト

第10回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストは、3月6日(土)7日(日)の2日間、神奈川県主管で茅ヶ崎市民文化会館で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により発出された緊急事態宣言を受け、関東支部まとめによる音源審査に変更し、朝日新聞東京本社読者ホールにて、無観客のもと審査員のみで実施されました。

神奈川県からの推薦団体の審査結果は右表の通りです。

第10回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

	団体名	賞
高等学校部門	清泉女学院高等学校音楽部	金
	神奈川県立相模原弥栄高等学校合唱団 A	銅
	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団	銅
	神奈川県立湘南高等学校合唱部 A	銅
	神奈川県立湘南高等学校合唱部 B	銅
	神奈川県立相模原弥栄高等学校合唱団 B	銅
	神奈川県立海老名高等学校合唱部	銅
	洗足学園中学高等学校合唱部	銅
中学校・小学校部門	川崎市立坂戸小学校合唱団	金
	横浜市立大綱中学校	銀
	川崎市立西中原中学校合唱部	銅
	横浜市立瀬谷中学校合唱部	銅

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載:「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載: 1/8頁 ¥2,500、1/4頁 ¥5,000、1/2頁 ¥10,000、1頁 ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。※切り厳守でお願いします。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2021年6月~2022年3月)

●第44回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会	6月1日(火)~5日(土)	(動画による審査)
●第64回神奈川県合唱祭(4日間)	6月12日(土)・13日(日)	神奈川県立音楽堂
	6月26日(土)・27日(日)	神奈川県立音楽堂
●第64回神奈川県合唱コンクール	8月21日(土)・22日(日)	神奈川県立音楽堂
●第27回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル	11月18日(木)	やまと芸術文化ホール
●第55回メサイア演奏会	12月12日(日)	神奈川県立音楽堂
●かながわユース・コーラルフェスト 2021	日程・会場未定	
●第24回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト	2022年 1月15日(土)・16日(日)	神奈川県立音楽堂
●第44回神奈川県合唱フェスティバル	2月11日(金・祝)	神奈川県立音楽堂
●第40回神奈川県ジュニア合唱祭	日程・会場未定	

編集後記: 2021年も緊急事態宣言での幕開けとなりました。中止が続いている県連の行事ですが、何とか工夫して開催にこぎつけようとしています。いつもと違う形でも、希望を持って歌い続ける気持ちをつないでいきたいですね。(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 志澤 彰 編集責任者: 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00 ~ 16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

